

# 国際機関の調達枠組を活用した医薬品・医療機器産業等の海外展開促進・調査事業

## 1. 事業の背景・目的

- 国連等の国際機関による医薬品・医療機器の国際公共調達※1は大きな市場規模を有する一方で、日本企業は経験・ノウハウ・情報不足により、十分に参入できていない状況※2にある。
- グローバルヘルス（UHC達成、感染症対策、高齢化・NCDs対応等）が国際社会の重要課題となる中、日本企業の技術・製品を通じた国際貢献と事業展開の両立が強く期待されている。
- 本事業は、国際公共調達に関する情報提供や専門家支援を通じて、日本企業の国際機関調達への参入機会を拡大し、将来的には企業が自立的・継続的に国際市場へ展開できる基盤構築を目的としている。

※1：国連等の国際機関や各国政府などの公共機関等が、発展途上国等の国際的な支援のために、世界各国の企業から、製品・サービスを調達すること。

※2：国連調達市場は医療分野で6,000億円規模（2020年）国別シェア（医療分野、2020年）：米13%、仏6%、独4%、英2%、韓3%、中13%、日0.5%

## 2. 事業の概要

- 本事業では、WHOやユニセフ等の国際機関との連携のもと、国際公共調達に関する情報提供や専門家による助言を通じて、日本企業の参入機会拡大を支援しており、これらの支援はすべて無料で提供している。

### 国際機関における 調達の情報収集と関係構築



個社では面談の難しいWHO・ユニセフを中心とする各国際機関の窓口・調達プロセス等の把握、キーパーソン等との関係構築を行い、企業の皆様とおつなぎします。

### 情報提供と 有望案件の掘り起こし



『メールマガジン』や『国際公共調達プラットフォーム（WEBサイト）』にて、調達のプロセスや手続き等に関するタイムリーな情報提供を行っています。

### チャレンジする 日本企業への伴走支援



国際公共調達や途上国市場に詳しい有識者をスーパーバイザーとして招聘し、実効性のある企業支援を展開します。